

JOYX OPEN 2018 予選会 (全部門共通)

大会規則

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び当競技ローカル・ルールを適用する。

2. 使用球

競技者の使用球はR&A発行の最新の公認球リストに掲載されているものでなければならない。

但し、予選会は1ボールルールを適用しない。

ローカル・ルール

- ① プレーヤーは、本競技において正規のラウンド中の移動はカートの乗車及び運転を認める。
- ② No.3とNo.4の間にある黄杭については、ペナルティーなしでそのままプレーする。
- ③ アウト・オブ・バウンズ(O. B)の境界は白杭で標示する。
- ④ プレー中のホールの境界線を越えて別のホールのコース上に球が止まった場合でもアウトオブバウンズの球とする。
- ⑤ 修理地は青杭又は白線で標示する。
- ⑥ ウォーターハザードは赤線もしくは赤杭をもって境界とする(コース内のW・Hはすべてラテラルウォーターハザード)。
- ⑦ 乗用カートとそれに乗っているキャディバック(及びキャディ)は局外者とみなす。
- ⑧ コース内にある岩は自然物(不可分のもの)とする。
- ⑨ No.2及びNo.6のグリーン横カート道路内にある芝地と樹木はカート道路とみなす。
- ⑩ スルー・ザ・グリーン上で球が打球の勢いで地面に食い込んだ場合は罰なしに球を拾い上げ、球を拭き、元の位置にできるだけ近く、かつホールに近づかない箇所にドロップすることができる。
- ⑪ ラウンド中は、プレーヤーはホールアウトをしたグリーンにおいて、またはそれを目標として練習できない(ストローク・プレーでは次のホールに2打付加、最後のホールではそのホールに2打付加とする)。
- ⑫ No.3にあるラテラルウォーターハザード内の石垣は、コースと不可分のものとする。
- ⑬バンカー内の石は動かせる障害物とする。
- ⑭ No.14ホールにあるサブグリーンはプレー禁止の修理地とする。(25-1b(i)の救済を受けなければならない)
- ⑮ ハーフターン終了後において、アプローチ練習は指定グリーンのみ可とする。(打球練習場は使用不可とする。)
- ⑯ No.11においてラテラルウォーターハザード内に球が止まった場合、規則 26 にもとづく処置に加え、DZ(ドロップゾーン)を使用することが出来る。
- ⑰ カート道路から白線でつながれた区域は、そのカート道路の一部とみなし、修理地ではない。

注意事項

1. 競技の条件やローカル・ルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティインググラウンド付近に掲示して告示する。
2. スタート時間5分前には、必ずティインググラウンド周辺に待機すること。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないよう注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則6-7により罰せられる。
4. 予選会では、正規のラウンド中に距離測定器を使用することは出来ない。
5. 予選会では、クラブの溝規制は行わない。

その他

予選会はスループレーではありません。(ハーフラウンドプレー後の休憩有り)